

# 新大阪駅周辺地域がめざす

# 世界有数の広域交通ターミナルのまちづくり

新大阪のまちづくりの  
詳細はこちら



新大阪駅周辺地域（新大阪・十三・淡路）では、今後、リニア中央新幹線や北陸新幹線、さらには淀川左岸線の整備など、広域交通ネットワークの形成が進められていきます。

大阪府・大阪市では、令和4（2022）年6月に「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針2022」を策定し、新大阪駅周辺地域において、かつてないほどの広域交通の一大ハブ拠点となる機会を捉え、駅とまちが一体となった新たなまちづくりを進めています。

## ■めざすべき大きな方向性

世界有数の広域交通ターミナルのまちづくりの実現

## ■新大阪駅周辺地域が担うべき役割

1. スーパー・メガリージョン※の西の拠点
2. 広域交通の一大ハブ拠点
3. 世界につながる関西のゲートウェイ

## ■新大阪・十三・淡路の役割

### 新大阪駅エリア

3つのエリアのリーディング拠点として、国内外の広域の人の流れを集めて、まちに広げる

### 十三駅・淡路駅エリア

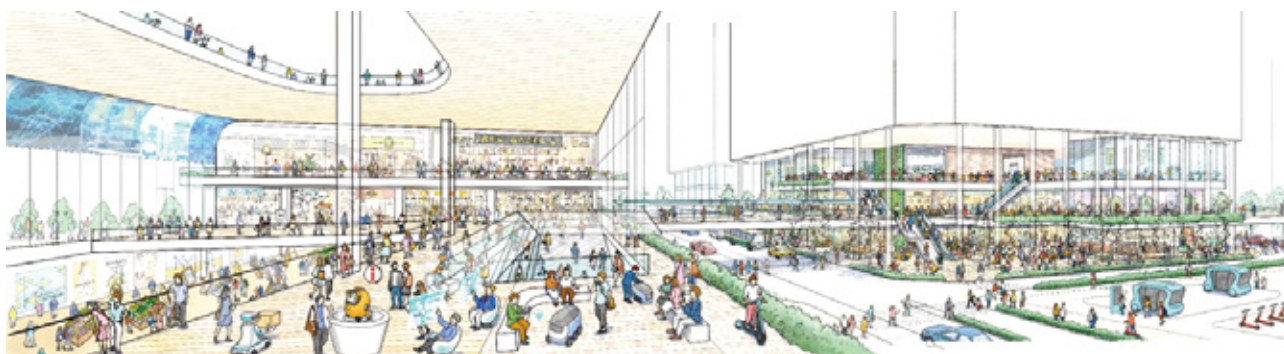
サブ拠点として、新大阪駅エリアの役割や、広域的な機能を補完するとともに、地域のまちづくりの中心拠点となる

### 3エリア共通

駅とまちが一体となった居心地のよい歩きたくなる空間を形成し、駅からの人の流れと、まちからの人の流れを生み出す



※国土形成計画（令和5（2023）年7月閣議決定）では「日本中央回廊」と表現





## ■新大阪駅エリアのまちづくりの基本的な進め方

新大阪駅エリアでは、“新幹線新駅関連プロジェクト”と“民間都市開発プロジェクト”により、駅とまちが一体となった新しいまちづくりを進めております。

### 新幹線新駅関連プロジェクト

- 広域交通結節施設
  - ・人の空間の充実、高速バスの拠点化
- 駅とまちをつなぐ歩行者動線
  - ・駅中心の6方向への人の動線の確保 等

### 民間都市開発プロジェクト

- 大規模な敷地の民間都市開発
  - ・質の高い機能の導入
  - ・魅力ある低層部の創出
  - ・まちの景観の向上 等




### 駅まち一体の空間づくり (ハード整備)

駅の周辺の6ブロックごとに人の主要動線を設け、エリアの価値を高める機能の集積と、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を図ります。

### 人と人をつなぎエリアの活性化を図る取組 (ソフト施策)

ハード整備に合わせて、エリアの価値を高めるために、まちづくりを担う組織やプロジェクトの組成に向けた取組を進め、エリアマネジメントなどの官民連携したソフト施策を促進します。

## 都市再生緊急整備地域で活用可能な主な支援措置

新大阪駅エリアの上図の範囲  は、都市再生緊急整備地域（新大阪駅周辺地域＜約114ha＞）に指定されています。緊急整備地域内では、法制上の支援措置や財政・金融・税制支援を受けることが可能です。

### 《主な支援措置》

#### ●都市再生特別地区

都市再生に貢献し土地の高度利用を図るため、既存の用途地域等に基づく規制にとらわれず自由度の高い計画を定めることにより、容積率制度の緩和等が可能

#### ●税制支援

固定資産税・都市計画税について、5年間、課税標準から市町村の条例で定める割合を控除  
(例)大阪市の場合  
課税標準×3/5 (2/5控除)



(例)グランフロント大阪  
容積率:800%→1600% 等